

社会情報（情報メディア）学科主催

\\ 内定者から話が聞ける! //

就職座談会 2025



4年生パネリスト



Aさん
平井ゼミ

自動車部品
総合職



Bさん
平井ゼミ

公務員
市役所事務



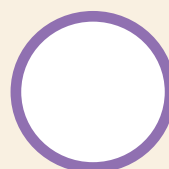
Cさん
尾関ゼミ

シンクタンク
総合職 (SE)



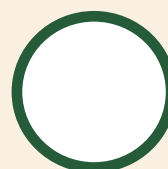
Dさん
和泉ゼミ

シンクタンク
SE



Eさん
和泉ゼミ

OA販売
総合職



Fさん
藤本ゼミ

公務員
学校事務

- A. 平井ゼミのAです。自動車部品作成会社の総合職として内定を頂いてます。
B. 平井ゼミのBです。市役所の事務職で内定をもらっています。
C. 尾関ゼミ所属のCです。シンクタンク企業に総合職(SE)で内定しています。
D. 和泉ゼミのDです。シンクタンク企業にSEとして内定を頂いてます。
E. 和泉ゼミのEです。商社(OA販売)の総合職として内定しています。
F. 藤本ゼミ所属のFです。小中学校の事務職員として内定を頂いてます。

Q.1

就職活動はいつ頃、何から始められましたか？また、就職活動の大まかな流れを教えてください。

しっかり始めたのは、9月ごろです。
おおまかには次の通りです。
全体的な流れ：企業のマイページを作成→企業がやっている会社説明会などに参加→ES提出→面接
※ES…エントリーシート

就活は3年生になってすぐに始めました。
最初のころは企業説明会に参加したり、早期選考につながるインターンに積極的に応募していました。
同時にSPIや公務員試験の勉強も進めていました。

3年生の5月頃から合同説明会に行き始める
→いくつかの1dayインターンシップなどを経て、夏の3daysインターンシップに参加→早期選考に招待→1月に内定→もう数社挑戦→5月に意思決定
というスケジュールで就職活動を行いました。

大学 3 年生の春頃にマイナビなどの就活サイトに登録して活動をスタート。
夏にインターンに向けて自分の興味のある業界や職種をざっくりと絞る。
夏のインターンシップでは興味のある企業にはすべて応募しました。
大手企業も含め、ES・Web テストの練習だと思って積極的にエントリー。
夏～秋のインターン・説明会を通して実際の経験から、自分が目指したい職種を明確化。
翌年1月には冬の選考が一段落し、エントリーしていた企業がすべて終わってしまい持ち駒がゼロになってしまう。
2～3 月は、会社説明会に参加し続け、ES、提出をひたすら繰り返す。
4 月受ける企業を絞り込み、重点的に対策。
5 月には志望企業から内定を獲得。

大学3年5月から合同説明会参加。
6月から企業分析、ES提出WEBテスト受験
8月から夏季インターンシップ
10月から秋冬インターンシップ
11月から面接
1月にはOG訪問
というスケジュールでした。

3回生の3月頃に開始しました。
大まかな流れは、マイナビで説明会に参加しまくる⇒ESを書く⇒キャリアセンターに行きES を添削してもらう⇒マイナビを活用して選考を受けまくる⇒並行して公務員試験の勉強をする⇒内々定をいただく⇒公務員試験に受かる。という感じでした。

Q.2

自己分析はいつ頃、どのようにしましたか？

就活開始と同じ9月ごろに自己分析をしました。
具体的には、今まで自分が心動かされた出来事を挙げ、そこから長所と短所を探しました。
また、友達など身近な人に自分の長所と短所を聞きました。

3年生の初めに取り組みました。
これまでの学生生活を学年ごとに振り返って、経験や取り組みを順番に書き出して整理しました。

3年生のころ、各就活サイトなどにある自己分析ツールなどを使って行いました。

夏のインターンシップに向けてエントリーシートを提出し始めたタイミングで、自己分析を本格的に始めました。まず、自分のこれまでの人生を大まかに書き出し、その中から特に自分の考え方や価値観に影響を与えた出来事を整理していきました。

6月から始めました。やりたいことが明確ではなかったため、自分の中で何をやりたくないか、また何を大切にしたいかを自己分析していました。

就職活動を始めてから考え始めました。選考を受けながら回数を重ねるうちに自己分析も深まっていった気がします。方法としては①友人や家族から見た自分の印象や長所、短所を聞いて客観的に見た自分を知る②ChatGPTを活用して自分から見た自分を整理し分析することを行いました。

Q.3

業界研究、企業研究について具体的にどのように調べましたか？また、業界は絞って受けていましたか？

四季報や業界地図で企業を探しました。
最終的には業界を絞りましたが、はじめは様々な業界を見ていました。

企業のホームページやマイナビで全体像を把握したあと、詳しく調べました。
業界は絞らず、IT・教育・人材・食品・建設など幅広く見ていました。

私は元々IT系で働きたいと思っていたので、業界は絞って受けていました。企業研究は主に企業のウェブサイトや就活情報サイト、説明会を通して行いました。

業界そのものを強く絞るというより、どのような働き方をしたいかという視点から、職種に重点を置いて企業を選んでいました。特に IT 業界は分野が非常に幅広いため、企業説明会に参加した際に、企業の方が「自社が業界の中でどのような立ち位置にあるのか」を説明してくださることが多く、その中で自然と業界理解が深まっていきました。
企業研究は、会社説明に参加するのが一番いいと思います。
また、企業のホームページに掲載されている社員インタビューを読むことで、実際の仕事の進め方や働く環境について理解を深めるようにしていました。

業界研究については説明会で教えてもらえる内容を参考にしていました。
企業研究は企業のHPを片っ端から見ただけでなく、口コミサイトなども参考にしていた。
業界については、IT業界と商社に絞っていました。

全てマイナビで調べました。あとは SNS から得た情報から業界や企業、職種を絞ったり、選考を受けながら自分の興味のある分野や業界を絞ったりしました。業界は初めはやりたくないことや譲れないこと（時間や休みなど）を基準にして絞りました。

Q. 4

この業界に進もうと思った最終的な決め手は何ですか？

ものづくりに携えるからです。
クルマは3万という部品からできていて、その中のどれか一つが欠けてしまうとクルマは安全に動きません。一つ一つの部品が大切である魅力を感じたからです。

地元の市役所に内定を頂いているのですが、生まれ育った街を、分野にとらわれずいろいろな面から支え、さらに発展させたいと思ったことが決め手です。

興味関心を持てるかどうかだったと思います。特にこの分野は変化が激しく、新しいことにも興味を持たなければならないと思います。その点私はそういったことにワクワクすると感じたので、IT業界に進もうと思いました。

ワークライフバランスの良さと柔軟な働き方が実現できる点が大きかったです。IT 企業は比較的テレワークやフレックスタイムなどの制度が整っている企業が多く、テレワークができることは私にとって大きかったです。

合同説明会で幅広く業界研究を行った結果、向き不向きを明確にし、自分の強みを最も発揮できると感じたのがこの業界だったため、最終的に進みたいと考えるようになりました。

自分の適性や性格的に事務職が向いていると感じたこと、アルバイトを通して子どもの成長を見守れる環境に身を置きたいと考えたことから決めました。

Q. 5

企業を選ぶうえで何を重視しましたか。また、そう考えた理由は何ですか。

まずは、上場しているかどうかを重視しました。次いで、従業員数と売上を見て企業の安定さを見ていました。
その会社に長く働きたいと思ったからです。

企業の方針や制度を重視しました。
根本的な価値観が合わない、後でいろいろな面でズレが出ると思ったからです。

社員の雰囲気を重視しました。その企業ではグループでの仕事为主だということで、人事の方の雰囲気はもちろん、インターンシップなどでいっしょに働く社員の方もしっかり見るようにしていました。

自分が長く働き続けられる環境かどうかを重視しました。私は結婚して、子供が欲しい!と思っていたので、女性が働きやすい環境があるかどうかを見ていました。また、きれいなオフィスで働きたいと思っていたので、企業選びの際にチェックしていました。

働いている人、や家賃補助などの充実を重視しました。
現在アルバイトをする中でいい人に恵まれていることで、長く続けることができ、ミス乗り越えることができているからため、社会人として働く上でも働いている人の雰囲気を重視しました。また、四国出身であるため1人暮らしすることが必須になるため家賃補助などの福利厚生も重視しました。

ワークライフバランス（休みや残業時間、有給の取りやすさ）を重視するとともに、自分が長く働き続けられる環境を望んでいたことから、学校事務（公務員）を選びました。

Q. 6

面接対策はどのようにされましたか？また、実際の面接でどのような質問をされましたか？

会社説明会での内容に加え、ホームページや統合報告書を読みこむなどして応募企業の情報を集めていました。
実際の面接では、志望動機、学生生活で頑張ったこと、長所、短所、そのエピソード、勤務地についてなどを聞かれました。

とにかく面接経験を積むことを意識しました。公務員試験対策でも模擬面接を何度も行い、場慣れしました。
実際の面接では、ガクチカや志望理由は必ず聞かれました。

特に行いませんでした。
面接では、「どうしてうちを受けようと思ったんですか?」「3年後どうなりたいですか?」「周りからはどのような人だと言われますか?」などと質問されました。

面接対策として、よく聞かれる質問をあらかじめ想定し、その回答をWordに書き出して整理していました。話したいポイントを簡潔にまとめたWordをお守りとして持っておくことで、面接本番でも落ち着いて、自信を持って臨むことができます!

面接は場数を踏むことが重要であるため、たくさんの企業の面接を受けたり、大学のキャリアセンターを活用したりしていた。
志望動機、就活の軸、業界を絞っているか、その理由も、大変なことはどう乗り越えたか、自分は周りからどういう人と言われがちか、などがよく聞かれた印象です。

ChatGPT で模擬面接をしたり、SNS から得た情報を元に想定質問を考えたりしました。
面接で一番多かった質問はやっぱりガクチカについてと自己PRについて、変わった質問だと、「宝くじが当たった時あなたは仕事を辞めますか?」「あなたは何のために働きますか?」「仕事ができる人とできない人の違いは何だと思いますか?」「ペンギンには3種類いると言われていますが、あなたはどのペンギンのタイプですか?」などです。

Q.7

**これだけは伝えておきたい！
という面接のコツを教えてください。**

実際の面接会場では、まず面接官を笑顔にさせることを一番にやっていました。
面接官の方が笑顔になってもらえると、厳粛な雰囲気になり過ぎず、こちらも思っていることを伝えることができたと思います。

企業のことをしっかり調べること。
それと、笑顔で明るく答えることを意識することが大事です。

笑顔を絶やさないことです。
もちろん緊張しますが、笑顔でいることで面接官の方も和やかに話を聞いてくれると思います。

とりあえず笑顔が一番大切だと思います！また、丁寧に礼儀正しくかっちりと話すこともとても大切ですが、必要以上にかたくなりすぎず、自分らしい自然な雰囲気で話すほうが、人柄が伝わりやすく、面接官との会話もスムーズになると感じました。
さらに、前の質問にも記載しましたが、カンペを仕込むことも緊張しないためのコツです。

面接は場数を踏むことが重要！
おでこを見せることで印象が変わると思います。印象も大事なので。

台本は作らない方が良いです。
あとは自分を良く見せたいときは、完全な嘘をつくのではなく、自分の実体験や本当のことをもとにして話すとうまくいくかなと思います。

Q.8

自分は他の人と比べてここが違うぞ！というところは何ですか？また、その強みをどうやって見つけられましたか？

面接自体緊張はしますが、言葉が詰まった経験がないことだと自負しています。
あとは元気！笑顔！！

自分の強みは「最後まで諦めずに努力する姿勢」です。
ダンスを5歳から続けていることに加え、この姿勢は部活動や勉強でも共通して発揮されています。
長い期間を通して一貫して取り組んできたからこそ、自分の強みとして実感できました。

コミュニケーション能力です。
就活をする中で、複数のインターンシップへの参加を通して見つけました。

負けず嫌いで、ずっと成長し続けようとするところだと思います。
今までの経験の中で、節々で悔しいから頑張る！という経験があったのでそう思います。

私は粘り強く続けられるところが強みだと思います。緊張しいな性格のせいで就活中でもなかなか面接が上手いかなかったのですが、アルバイト先の先輩に面接のコツを聞いたり、上手く答えられなかった質問を面接が終わってすぐ振り返ったりしていました。その経験で自分はいわゆるコツコツ型なんだと実感しました。

しいていうなら人当たりの良さ、親しみやすさかなと考えます。
面接官の方に「一緒に働きたい」「人柄が良い」と言われたことで見つけました。

Q.9

情報メディア学科は企業からどんな印象を持たれているか、就活中に感じたことがあれば教えてください。

情報、パソコンに強いというイメージは持ってもらえやすいです。パソコンスキルなどはあって損はないようなお話をしていただいた経験もあります。

「どんなことを学んでいるのか？」とよく聞かれました。
プログラミングをしているイメージを持たれることもあると感じました。

理系なのか文系なのか聞かれることも多く、どんなことを学ぶのかと興味を持ってもらえることもあったので、より分かってもらえる様に授業の内容を1部思い出しておくといいかもしれません。

情報メディア学科は理系の学科だと思われると聞いていましたが、あまりそうではありませんでした。
メディア学などの文系科目に加えて、プログラミングやデータベースといった理系分野まで幅広く学べる点は、企業の方にも興味を持ってもらえました。
私はもともと映像や画像編集といった科目に興味があり、それらに加えてプログラミングなどの理系分野も一緒に学べることに魅力を感じてこの学科を選んだのですが、面接でその話をすると、企業の方には好印象でした。

「情報メディア学科ってことはプログラミングとか得意？」「具体的に何する？」と聞かれることがありました。プログラミング経験が少ない自分には少しヒヤッとした質問でした。

プログラミングや情報技術に詳しいという印象を持たれることが多かったと感じます。実際私は、プログラミングよりもメディアやマーケティングを学んできて、知識があまりなかったのですが、そういった印象を持たれるとやりにくかったのですが、勉強意欲や授業で少し学んだ旨を話すことで理解してもらえました。

Q.10

興味を持っている職種以外にも見学や面接に行きましたか？また、そこで参考になったことがあれば教えてください。

職種でいうと、会社説明会の先輩社員との座談会の際に、希望ではない職種の先輩にも詳しく仕事内容を聞いていました。これは面接でも詳しく話せるようになるので良かったです。

多くの企業を見学し、オンライン・対面の両方に参加しました。業界や職種によって雰囲気が全然違うことを実感しました。

総合職SE以外も、合説にて見学に行きました。希望職種以外を見ることで、希望職種を目指す気持ちが強くなったように感じます。

説明会には参加しました。いろんな企業の話を書くことで、話を聞いていてワクワクする仕事や、逆に自分にはあまり興味が湧かない仕事を知ることができ、結果的に自分に合った企業や職種をうまく取捨選択できると思います。

合同説明会では様々な職種や業界を知るために聞きに行ったが、自分の向き不向きが分かったような気がした。

興味を持った職種以外は行ってないです。3回生の夏にいった合同説明会では色んな職種の話を聞きました。そこで職種や業界をなんとなく絞りました。

Q.11

インターンシップに行くと周囲との差をつけられるとよく聞きますが、参加はしましたか？また、参加して良かったと実感されたことがあれば教えてください。

2日以上インターンシップに参加した経験はありません。たしかに長期インターンに参加した者だけが早期にのれるという話を聞いた事があります。しかし、1日のインターンシップや数時間のインターンシップでも早期の案内が来る企業もあるので業界で異なるのではないかと思います。

3年生の夏に内定先の省庁で2週間のインターンに参加しました。スマートシティ戦略部で、総務省の会議に同席させてもらい、さまざまな業務の流れや考え方を学びました。最終日には、学んだことをもとにチームでプレゼンも行い、とても貴重な経験になりました。

参加しました。開催企業のこともよく知ることができ、インターンシップに参加することで早期選考に参加できる場合もあるので、できるだけ参加することをオススメします。

夏・秋・冬のインターンシップに参加しました。特に、エントリーシート提出や選考があるタイプのインターンには参加して良かったと感じています。私は夏のインターンシップの経験を通して、自分がどのような仕事をしたいのかを明確にすることができたので、とても大事な経験になると思っています。

インターンシップに参加することで企業や業界についての理解を深めることができたり、早期選考の案内が来たりしたため参加して良かったと思います。

3回生の夏に参加しました。就活への意識やモチベーションに繋がったので参加して良かったと思います。あと面接でインターンに行ったことがあるか聞かれることも何度かあったので、行っておいて損はないかと思います。私は大手企業を受けていないのでその辺りはあまり分かりませんが、大手に行きたいならインターンの参加が重要だと聞いたことがあります。

Q.12

就活のために、利用していた施設やイベントを教えてください。

参加したことはありません。

就活初期はキャリアセンターを利用して、自己PRやガクチカの添削を受けました

大学が開催していたエントリーシート対策講座などに参加していました。

キャリアセンターを少し利用していました。

キャリアセンターと大学主催の面接対策講座などに参加しました。

キャリアセンターを2回ほど利用しました。あとは面接を受けるためにキャリアセンターの中の個室スペースを利用しました。

Q.13

学業と就活の両立はどのようにしていましたか。

3年の後期から就活が忙しくなるという話を聞いていたので、それまでにある程度単位をとるように意識していました。

公務員試験の勉強と民間就活を同時に進めていたので大変でしたが、メリハリをつけることで両立できました。

それぞれを分けて考えて、大学の課題や企業への提出物を後回しにしないことを意識していました。就活中はやることが次々出てくるので、少し時間がかかってもその場でできること

正直両立できていたとは言えない様に思います。マルチタスクで頑張るよりも一つのことに集中した印象です。

就職活動に集中するため3年生前期のうちにある程度単位は取り終えていました。

私は単位を大体取っていたので、就活に専念していました。なるべく、就活に専念できるようにしておくことに余裕がもてると思います。

Q.14

就活中の失敗談と成功談を教えてください。また、それらを踏まえて、こう改善すればよかった！という点があれば教えてください

失敗談として、ESの提出が本当は12:00までだったのですが、夜0:00までだと勘違いしてしまい、エントリーできなかった企業があったことです。
時間管理は気を付けてください。。。成功談としては、業界を早めに絞れたことです。業界を絞ったことでESを書く時間が大幅に減りました。

挫折は、あまり興味がない企業を十分に調べず、面接で答えられなかったことです。成功は、ガクチカや自己PRを複数用意して、暗記せず自然に話せるようにしたこと、笑顔を絶やさなかったことです。

失敗談としては、就活初期、ESを先生などに見せることなく企業に出すと落ちることが多かったのですが、ゼミの先生に添削してもらって通ることが多かったので、ESを出す際は恥ずかしくても先生に添削して貰ってから提出すると思います！

挫折としては、早くから就活を進めていたため、夏・秋インターンから早期選考に進めたが、就活を少し甘く見ていた部分もあり、すべて落ちてしまったことです。成功談としては、面接を数多く受けるうちに、質問への答え方のコツや自分の伝え方が明確になったことで、内定には届かなかったが、大手企業の最終選考まで進むことができ、「学歴は関係ない」と確信できた。

成功談は早めに就活を始め、周りの先輩や就活生と情報交換を行っていたことです。失敗談は早めにWEBテスト対策を始めていればよかったと公開したことです。

失敗:スケジュールを詰め込みすぎて体調を壊したこと。一週間毎日面接の予定を入れたらストレスで胃腸炎になり一週間動けなくなりました。自分のキャパシティを考慮してスケジュール管理をすることの重要性を感じました。成功:多くの選考を受けたことで何社か内定をいただくことができたこと。少しでも興味があるなら受けた方が良いかなと思います。

Q.15

就職活動において、ポートフォリオ（作品集）を作成しましたか？また、いつ頃にどのように準備をしていたか教えてください

作成しておりません。

ノートに面接での気づきや自己PRの内容を書きまとめていました。

ポートフォリオは作成しませんでした。

作成経験はありません。

ポートフォリオは作っていませんが、ゼミや部活での成果物を整理して、面接や自己PRで活用できるよう準備していました。

作成していません。

Q.16

就職活動用のスケジュール帳は作りましたか？また、スケジュール帳をうまく活用できた例があれば教えてください

作りました。

就活中は、面接やインターンシップが同じ日にいくつもある日も少なくありません。また、ESの提出の締切を管理するためにもスケジュール帳を作成してよかったです。

就活専用のスケジュール帳を作っていました。企業が多い時期でも整理して書くことで、とても管理しやすくなりました。

私は特に使いませんでした。ですが、スケジュール管理は大変だったので、スケジュール帳に限らず、アプリなどでもしっかり管理すると思います。

就活用スケジュール帳は作ってはいませんが、「説明会」「ES 提出期限」「面接」の予定を色分けしていたことで、スケジュールは視覚的にもうまく管理できていたと思います。

iPhoneのスケジュールアプリで、合同説明会や企業セミナー、面接の日程を管理していました。

特に、冬頃になるといくつもの企業のエントリー締め切りに追われ、ゼミやアルバイトと重なる日程も多かったため、色分けして優先度や準備内容をメモしました。そのおかげで、面接前に必要な準備を漏れなく行え、余裕をもって行動できたと思います。

作っていません。

スマホのカレンダーに記入していました。

Q17からは、スピンオフの質問！
座談会当日の話題を一部抜粋！
※すべての先輩の回答ではありません。

Q.17

面接で授業やゼミ活動の話がされましたか？また、その時の面接官の反応はどうでしたか、教えてください。

ガクチカの際に話していました。非常に肯定的なお話をいただけて嬉しかったです。

授業やゼミの話聞かれることもあり、PBLやゼミ独自の活動の話に「なるほど」と受け止めてもらえることが多かったです。

あまりしていませんが、話したときの反応は良かったと思います。

Q.18

エントリーシートや履歴書作成のコツがあれば教えてください。また、就活について相談した人がいれば教えてください

履歴書については、端的に分かりやすく書く事だと思います。

また、就活については、親や兄弟にどのような企業を受けるかなどについて相談していました。

まず書いてみることに。添削はゼミの先生や公務員対策の先生にお願いしていました。

また、就活については母や友人に相談していました。自己否定しそうなときに話を聞いてもらうことが多かったです。

志望理由は「この企業ではないといけない」理由になっているか、ありきたりな理由になっていないかを、再三確認し、時にはchatGPTに添削してもらい書いていました。

最初に自分がしたいこと、社会に与えたい影響を書き、「なぜこの企業であればそれが実現できるのか。」を明確にすることが一番大切だと思います。

また、エントリーシートが全く通過しない時期があり、友達のお姉ちゃんに相談していました。

キャリアセンターを活用していました。また、場合によりChatGPTを活用していました。

Q. 19

**1～3年生が今のうちからしておくべきことはありますか？
また、就活をしてよかったこと、
楽しかったことはありますか？**

ガクチカで話せるエピソード・経験を増やすことだと思います。また、自分は何に心動かせるのか、また、何かに熱中してみるのも今しかできない期間だと思います。

就活で良かったことは、一番に企業のことを深く知れることです。私は特にBtoBの企業を探していたため、普段の生活では見かけない企業を見つけることができました。その会社概要や商品について知る過程で多くの驚きがあったことが楽しかったです。

ガクチカや自己PRにつながる経験を少しずつ書き出して整理しておくといいです。就活をしていてよかったことは、自分の成長を実感できたことです。

1, 2回生は就活のことを考えるよりも、授業をちゃんと出席して遊んだり趣味に没頭したりしても良いと思います。強いて言うなら、過去の授業内容を記録しておくとか就活の時に思い出しやすいので良いと思います。私は、過去に受けた授業の内容を全然覚えていなくて思い出すのに苦労しました。
また、就活をしていて良かったことは、しっかりと、就職先が見つかったことです。

Q. 20

エントリーした会社は何社ですか？

130社程度にエントリーしました。

10社程度でした。

30社くらいだったと思います。

Q. 21

**ガクチカについて、何を書けば
良いか分からないという声を耳
にしますがどのような方法でガ
クチカを整理していましたか？**

学生生活で熱中したことや心動かされたことを書きました。その上で、自分はどういう役割を果たし、そこで何を考えて何を学んだのかを詳しく書きだすことから始めました。

まず、学年ごとの経験を書き出して整理するところから始めました。

これまであったことを書き留めて、ChatGPTなどを活用しつつ自分のガクチカをまとめるようにしていました。